

# 解答プリント「中学社会・歴史分野」

## ■確認プリント

### 単元:12 世界恐慌と第二次世界大戦

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ (1) 五か年</p> <p>㊦ (2) ニューディール政策</p> <p>㊦ (3) ブロック経済</p> <p>㊦ (4) ドイツ ヒトラー</p> <p>イタリア ムッソリーニ</p>	<p>㊦ (1) ロシア革命を指導したレーニンの死後、スターリンがソ連の指導者となり独裁政治を進めた。第一次五か年計画では農業の集団化、工業の発展をめざし、第二次五か年計画でソ連は世界有数の工業国に成長した。</p> <p>(2) ニューディール政策は 1933 年から 35 年にかけて実施された。労働者の賃金を引き上げ、農産物の価格低下を防ぐことで国民の購買力を高め、公共事業を増やすことなどにより失業者の救済をはかった。</p> <p>(3) イギリスはその植民地であったカナダ、オーストラリア、ニュージーランドなどとの関係を深めた。一方、フランスはアジア・アフリカとの関係を強化した。</p> <p>(4) ドイツ ヒトラーはナチス（国民社会主義ドイツ労働者党）を率いて、1933 年に政権を獲得し、独裁政治を進めた。</p> <p>イタリア ムッソリーニは 1919 年にファシスト党を結成し、1922 年に政権を獲得している。</p>
<p>㊦ (1) エ</p> <p>㊦ (2) 犬養毅</p> <p>㊦ (3) 毛沢東</p> <p>㊦ (4) 国家総動員法</p> <p>㊦ (5) イ</p> <p>㊦ (6) ウ</p> <p>㊦ (7) 集団疎開（学童疎開）</p>	<p>㊦ (1) 満州事変は奉天（現在の瀋陽）郊外の柳条湖での、関東軍がおこした南満州鉄道爆破事件がきっかけとなって開戦した。</p> <p>(2) 犬養毅は護憲運動の中心となった政治家で、立憲政友会の総裁として 1931 年に内閣を組織していた。五・一五事件は海軍青年将校を中心として民間人も参加していた。</p> <p>(3) 毛沢東を中心とする共産党と、蒋介石を中心とする国民党が結成した日本に対抗する組織を、抗日民族統一戦線という。</p> <p>(4) 第 1 次近衛内閣が公布した法令で、政府は戦時の際、労働・物資・資金・施設などを自由に統制できることとなった。</p> <p>(5) ドイツはポーランド侵攻の前に、イギリス・フランスとの戦いに備えて、独ソ不可侵条約を結んでいる。</p> <p>(6) 日本はドイツとの間で 1936 年に日独防共協定、1937 年ドイツ・イタリアとの間で日独伊三国防共協定を結んでいる。</p> <p>(7) 学童疎開は 1944 年 8 月から始められた。</p>